

目指す学校像	みんなでつくる わくわくがあふれる野田小学校 ～ すべての子どもが 自ら 自分らしく育つ学校 ～
--------	--

重点目標	1 基礎的・基本的事項の定着と児童が自ら学ぶ授業への改善 2 安心・安全な学校づくりに自ら取り組む児童の育成と相談体制の充実 3 学校・家庭・地域が連携して取り組むスローガンの策定と取組の具体化 4 業務改善の推進と教職員の資質・能力の向上を図る研修の充実
------	---

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、  
 方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価					学校運営協議会による評価		
年 度 目 標					年 度 評 価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	(現状) ○全国学力学習状況調査や市の学習状況調査の結果、国語科、算数科ともに全国平均、市平均と比べ、課題が見られた。 ○「自分で計画を立てて、勉強をしていますか」の質問に肯定的に回答した児童は、71.7%、「国語の勉強は好きですか」肯定的回答79%、「算数の勉強は好きですか」肯定的回答75.8%であった。昨年度と比べ改善はしているが、教える授業から児童が自ら学ぶ授業への改善を図る必要がある。 (課題) ○基礎的・基本的事項の定着状況や主体的に学習に取り組む態度等の個人差が大きくなってきている。	・基礎的・基本的事項の定着 ・「児童が自ら学ぶ授業」への改善	・月1回、詩の暗唱チャレンジ、100マス検定日を設け取り組む。 ・月に1度、今月の取組を振り返り、改善を図る。 ・スタディサプリ、ドリルパーク等を活用した個別最適化した学習モデルの作成を1学期中に行う。 ・1人1授業研究会を行い、児童が自ら学ぶ授業への転換を推進する。 ・管理職による授業参観を全教員が学期に1回実施する。 ・体育科の指導法に関する情報提供、示範授業を全学年で実施する。	・月1編の詩暗唱を80%の児童が達成する。 ・月1回100マス検定を実施し、90%の児童が自己ベストを更新する。 ・市学習状況調査4年度比3PT上昇。 ・学校自己評価に係る児童アンケートにおいて、「計画を立てて勉強する」割合が90%以上となったか。			
2	(現状) ○学力・学習状況調査において、「学校に行くのが楽しい」の質問に肯定的な回答をした児童の割合が最も低い学年は73.9%、平均は89.3%であった。楽しいと回答できない児童が多い学年で5名、どの学年にも2名は在籍している。 ○「学校では悩みやトラブルなどに適切に対応している」の質問に肯定的な回答をした児童が78.9%、保護者は95.1%であった。 (課題) ○児童一人ひとりの状況を的確に把握し、適切なタイミングで組織的に支援・相談していく体制・仕組み作りのさらなる充実と自分事として考え、行動する力を子どもたちに育むことが課題である。	・安心・安全な学校生活の実現に取り組む児童の育成 ・教育相談体制の充実	・児童が主体的に課題の解決に取り組めるようリーダー宣言制度を立ち上げる。 ・教育相談室を開設し、児童が休み時間等に相談できる「野田っ子窓口」の運用充実を図る。 ・情報端末を活用して、児童の記録を蓄積し、状況を継続的に把握できるようにする	・リーダー宣言をし、改善に取り組む児童50名以上。 ・学校自己評価に係る児童アンケート「学校では悩みやトラブルなどに適切に対応している」の質問に肯定的な回答をした児童の割合が前年度以上となったか。			
3	(現状) ○昨年度、本校学校運営協議会を立ち上げ、目指す児童の姿について熟議を積み重ね、学校の教育目標を「自ら(主体性)、ともに(尊重・協働)挑戦する(創造・貢献)」とし、保護者や地域と共有し取り組むことを確認した。 (課題) ○今年度は、昨年度に学校運営協議会で共有した目指す児童の姿を、家庭、地域、企業などに広め、地域に住み、地域に集う全ての人々と共有できるように重点目標をスローガンとして策定する。スローガンを受け、各家庭で取組むことをPTA等で話し合ってもらおう。	・学校の教育目標の具現化に向け、学校、地域、保護者が連携して取り組むスローガンの策定 ・学校の教育目標具現化に向けた家庭・地域での取組の実施	・学校の教育目標を具現化するため地域や保護者と連携して取り組む重点目標をスローガンとして策定する。 ・児童代表が学校運営協議会に参加し、野田小学校の課題と解決に向けた取組を発表する。 ・各家庭で取組むことをPTAで協議してもらおう。 ・野田小学校の課題を解決するための取組や協力してほしいことなどをポスターにして呼びかけるなど、児童から保護者地域への働きかけを実施する。	・学校の教育目標を具現化するため地域や保護者と連携して取り組む重点目標をスローガンとして策定できたか。 ・児童代表が学校運営協議会に参加し、野田小学校の課題と解決に向けた取組を発表することができたか。 ・各家庭で取組むことをPTAで協議してもらったことができたか。 ・野田小学校の課題を解決するための取組や協力してほしいことなどを、児童から保護者、地域への働きかけを実施することができたか。			
4	(現状) ○学校課題研修等を通して、子どもたち一人ひとりが生き生きと学ぶための手立てについて共有が図られてきた。 ○小規模校であるため、教職員一人ひとりの負担が大きい。 (課題) ○教職員一人ひとりの業務量の削減と誰もが学び続けることができる職場環境づくり ○子どもたち一人ひとりが自ら生き生きと学ぶ授業づくり	・業務改善の推進と同僚性の向上 ・教職員の資質能力の向上を図る研修の充実	・野田小ハッピープロジェクト(働き方改革推進プロジェクト)を立ち上げ、教職員が当事者として業務改善を考え、実行する仕組みを1学期中に作る。 ・「キャリアnavi」と研修受講歴を活用した対話に基づく受講奨励を推進し、学びを共有する場と仕組みを創る。 ・学校の教育目標を具現化する教師像を、教職員とともに作成、その達成率を示す。	・教職員からの提案5件以上。 ・全教職員が、自らの課題を解決する研修を受講し、学んだことをアウトプットし、共有する。 ・目指す教師像の達成率50%以上			

学校運営協議会による評価  
 実施日令和6年2月9日  
 学校運営協議会からの意見・要望・評価等